

ISK経営塾 65期 講義キーワード

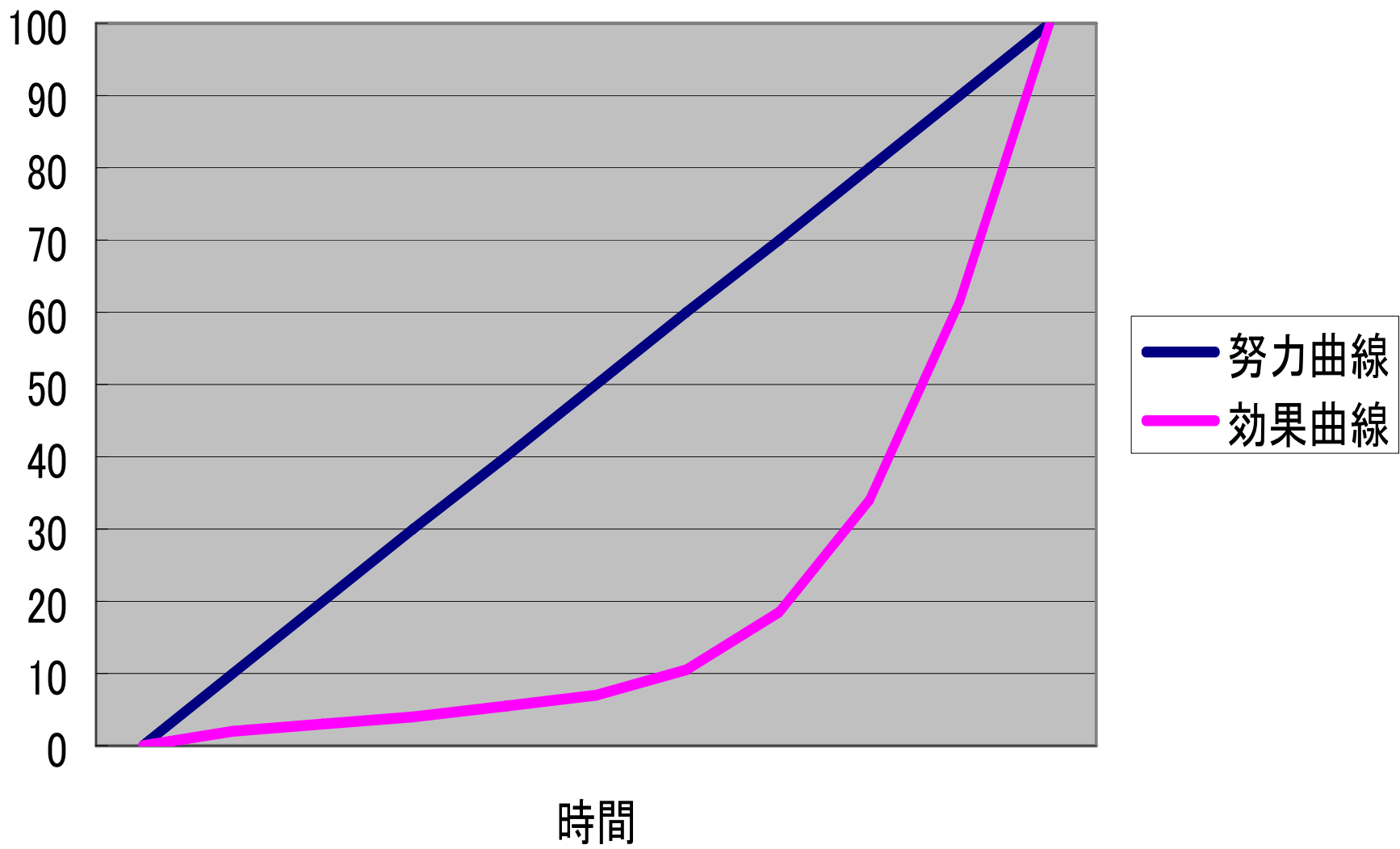
第5回

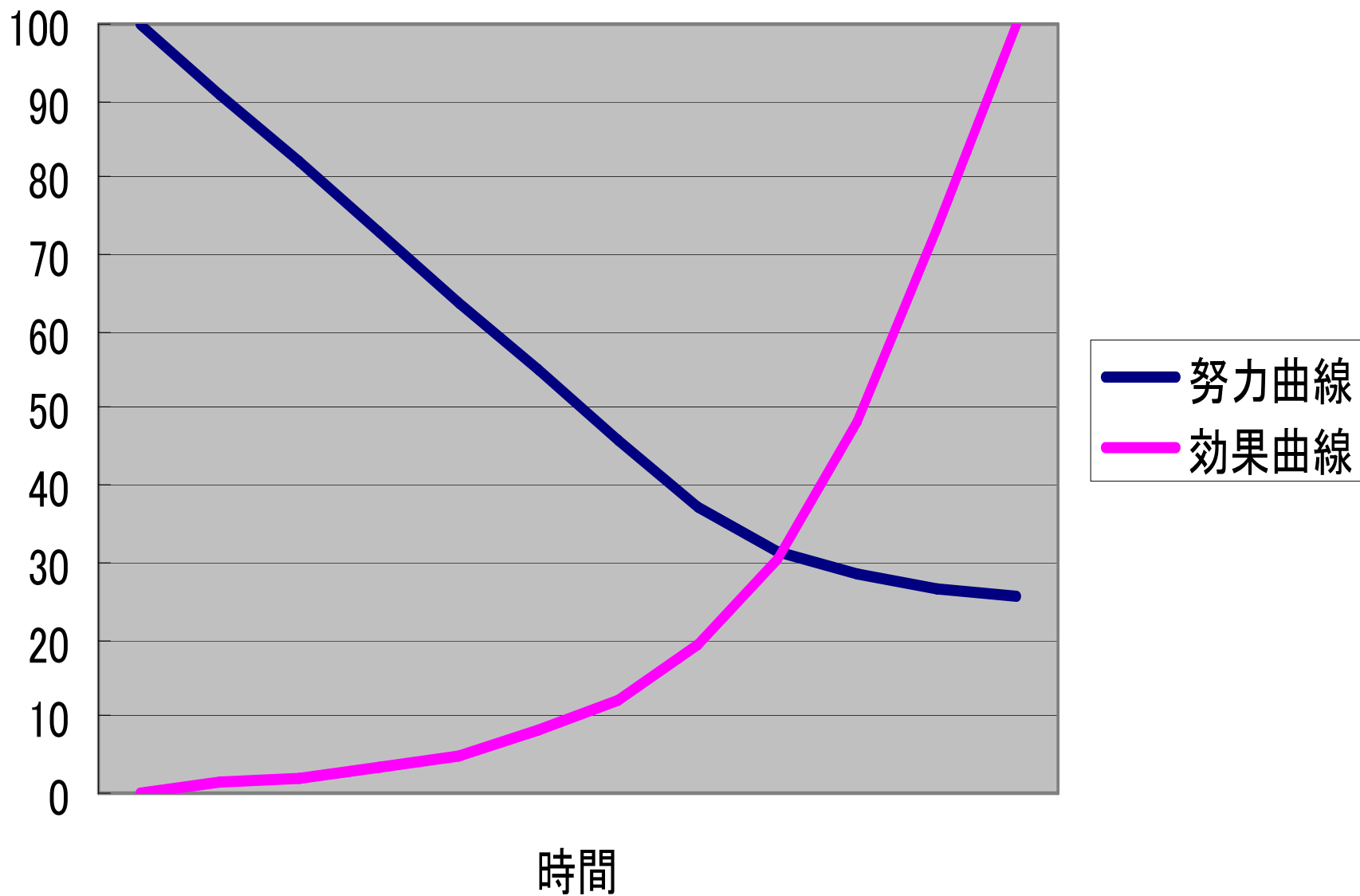
2005年2月16日（水）

◆前回講義キーワード

- 「どう生きたい」「どうなりたい」などのイメージが大事。イメージがないから、全てが受身になってしまう。21世紀のビジネスでは自主性が重要。
- 夢も経営資源。夢とのコミュニケーションの量が多ければ輝きは増す。
- 作業ばかりやっても“どうでもいい人”にしかならない。2～3年後のイメージをしっかりと構築できるかがポイントである。
- テーマを持つ。テーマがあれば、方法は自然とついてくる。
- 「できる・できない」などをすぐに考えない。今の自分で夢に限界をつくらず、未来の自分の可能性を信じたダイナミックな夢をイメージする。

- もっと外に出て、感じて、自分を磨き続ける。
- 大才は袖すり合う縁をも活かす。出会った縁を活かす人ほど勝てる人である。
- できる・できないは紙一重。この微妙な差を積み重ねる。そのためには能力ではなく、想いの差である。
- 摩擦やトラブルを恐れて、過去のパラダイム・成功にしがみついているだけでは成功は得られない。摩擦やトラブルは自分を大きくしてくれる。
- 経営は奇手・妙手ではなく、基本の組み合わせである。
- 自分の使命を理解し、他人の真似ではなくオリジナリティを持った、自分の顔を明確にしよう。
- 努力曲線と成長曲線には時間的なずれがある。すぐに諦めずに、結果が出るまでは量をこなして足腰を鍛えること。量が質を産み出す。





- 能力のない人は、熱意・想いで勝って行く。能力の差は2～3倍、想いの差は200～300倍である。
- 知識に汗をかいて、経験から知恵にする。
- 物事を相対ではなく、絶対、一体で考える。
- マクロとミクロは同じ。千里の道も一歩からである。
- 春の次に必ずしも夏はこない。論理ではなく、事実を見据えた経営をする。論理思考だから矛盾が起こる。それではジャンプ力は出てこない。
- 只管。他のことを忘れてしまうほど、徹する、ただひたすらやることで、大きなパワーが出る。
- 真理は一つ。全ての根っこはつながっている。
- 深刻ぶらずに真剣にやる。今を真剣に生き抜けば、自然と未来は見えてくる。今の積み重ねが未来である。